

各位

上場会社名 東京製鐵株式会社  
 代表者 代表取締役社長 西本 利一  
 (コード番号 5423)  
 問合せ先責任者 取締役総務部長 奈良 暢明  
 (TEL 03-3501-7721)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年4月21日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成30年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	71,500	5,000	5,000	4,750	32.97
今回修正予想(B)	75,500	8,000	8,000	7,500	52.06
増減額(B-A)	4,000	3,000	3,000	2,750	
増減率(%)	5.6	60.0	60.0	57.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	57,220	5,378	5,550	5,210	36.17

平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	143,000	10,000	10,000	9,500	65.94
今回修正予想(B)	147,000	13,000	13,000	12,000	83.30
増減額(B-A)	4,000	3,000	3,000	2,500	
増減率(%)	2.8	30.0	30.0	26.3	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	121,748	10,514	11,164	11,140	77.33

### 修正の理由

当4-6月期におきましては、国内鋼材需要が想定を超えて推移する中、当社の製品販売数量は期初の見通しを上回りました。製品出荷単価が概ね想定どおりであった一方、主原料の鉄スクラップについては、中国政府が主導する鉄鋼生産設備の廃却により余剰感が強まるとの思惑から、市況が軟調となり、購入単価は計画を下回りました。加えて、生産数量の増加によるコストダウン効果等もあったことから、当第1四半期の業績は、計画を上回る進捗となりました。

今後の見通しにつきましては、国内の鋼材需要は、都市再開発や東京オリンピック・パラリンピック工事着工の本格化等を通じて、堅調に推移すると期待されます。

当社といたしましては、需要に見合った生産を徹底するとともに、さらなるコストダウンの取り組みを全社一丸となって進めてまいります。

以上のような次第から、第2四半期累計期間及び通期の業績予想について修正いたします。

※上記予想の内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、主原料である鉄スクラップ価格、鋼材の市況等により大きく変動する可能性があります。

以上